

自動車盗の発生状況(令和6年2月末)

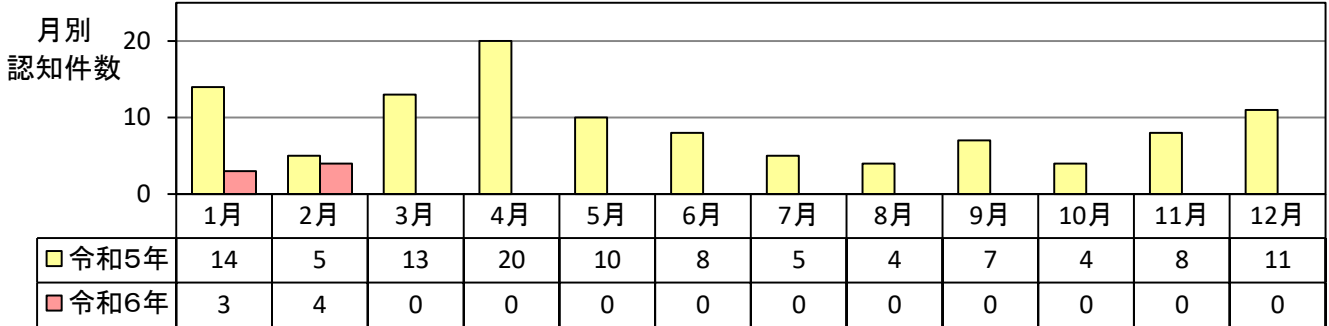
街頭
犯罪

1 認知件数

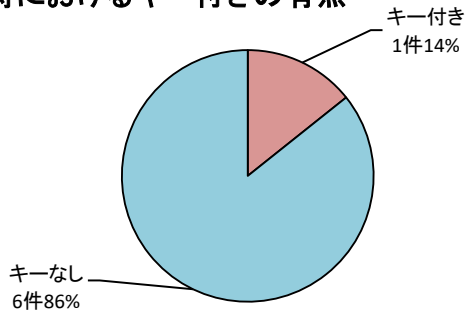
認知件数	前年比	増減率	被害回復件数	被害回復率
7	-12	-63.2%	12	171.4%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和6年2月末、県内における自動車盗は7件発生、総被害額は約3,591万円、前年比-12件(増減率-63.2%)となっており、約9日に1台が盗難被害にあっています。

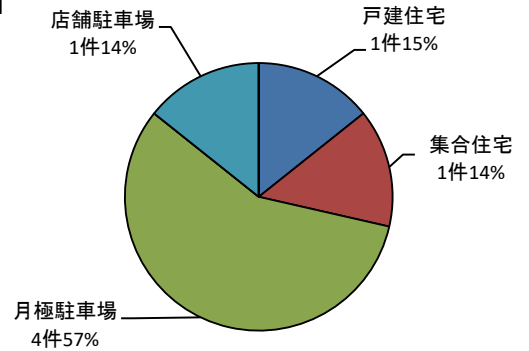


2 被害時におけるキー付きの有無



キーなし被害は86%

3 被害場所



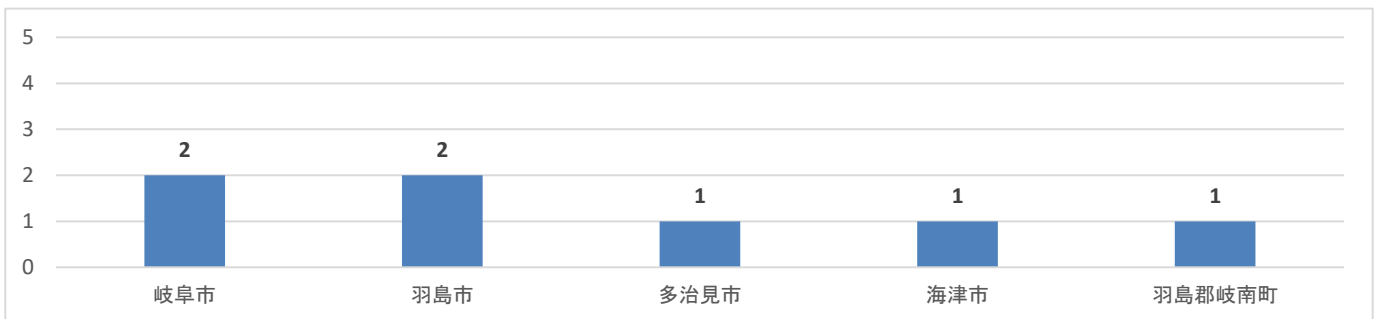
自宅周辺による被害は86%
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅・月極駐車場)

4 被害車両の種別

車種別	乗用車	貨物自動車	特殊自動車	他の自動車
認知件数	6	0	0	0

※ 未遂 1件

5 市町村別発生状況



～ 自動車盗難防止のポイント ～

1. 短時間の駐車でも車から離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ドアロック」をしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ハンドルロック、タイヤロック、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

オートバイ盗の発生状況(令和6年2月末)

街頭
犯罪

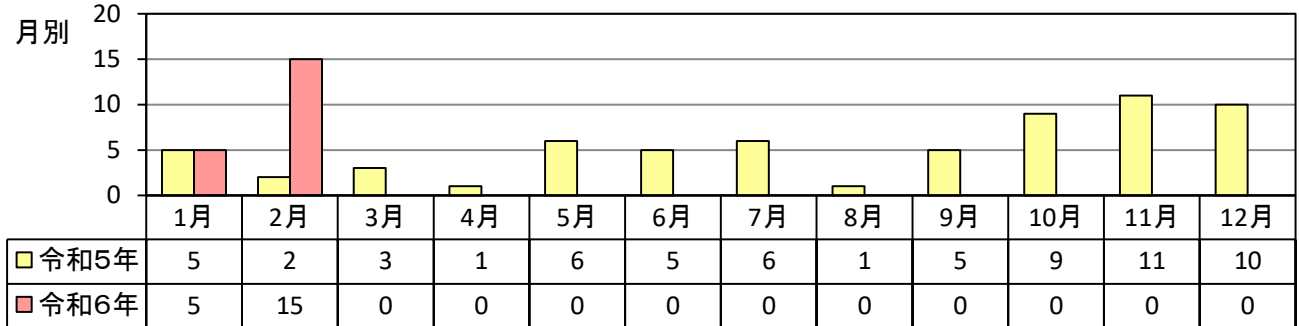
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
20	+13	+185.7%

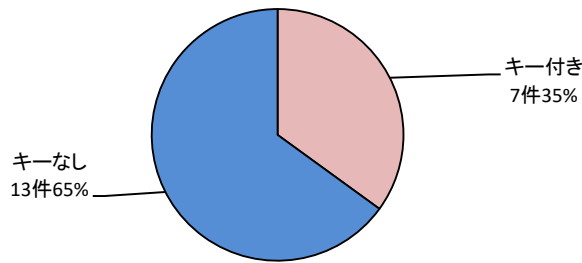
被害回復件数	被害回復率
7	35.0%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和6年2月末、県内におけるオートバイ盗は20件発生、前年比+13件(増減率+185.7%)となっており、20件中15件は原動機付自転車の盗難被害になります。

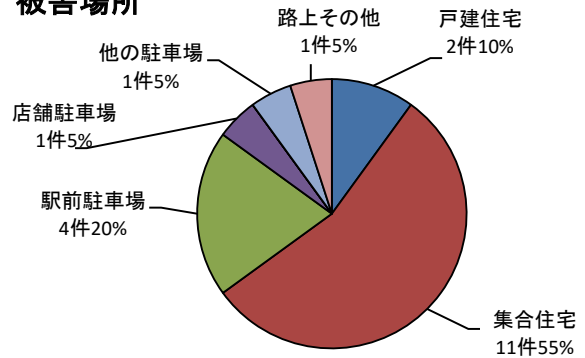


2 被害時におけるキー付きの有無



キーなし被害が65%

3 被害場所

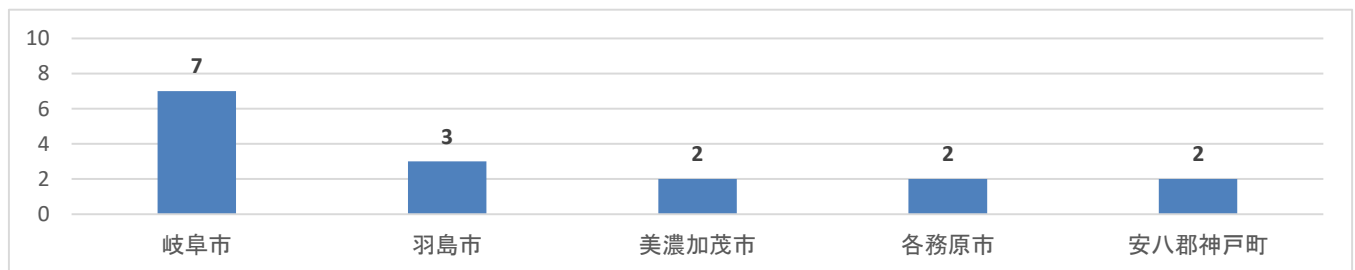


自宅周辺による被害は65%
(自宅周辺：戸建・集合住宅)

4 被害者の年代

年齢別 認知件数	未成年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	法人
	0	11	3	2	2	2	0

5 市町村別発生状況



～ オートバイ盗難防止のポイント ～

1. オートバイから離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ハンドルロック」をしましょう。
2. U字ロックやワイヤーロックで「ツーロック」をして、バイクカバーを掛けましょう。
3. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。

自転車盗の発生状況(令和6年2月末)

街頭
犯罪

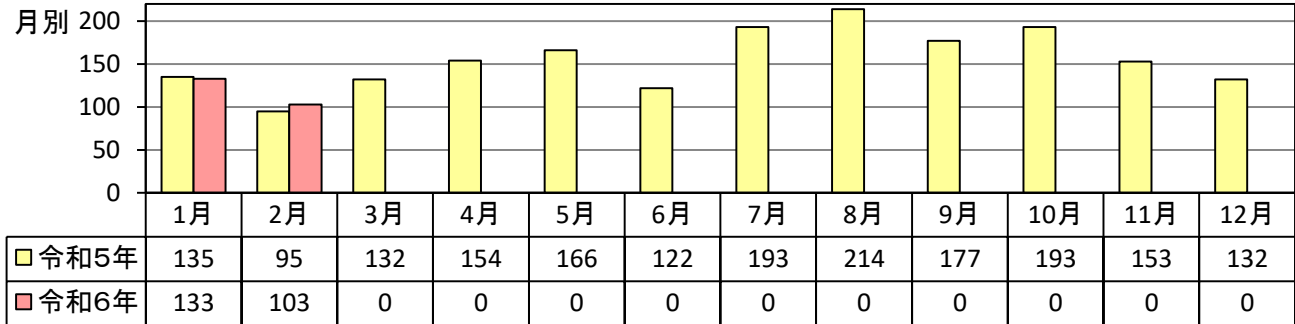
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
236	+6	+2.6%

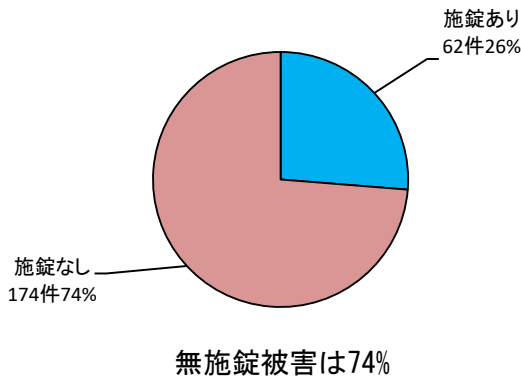
被害回復件数	被害回復率
137	58.1%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

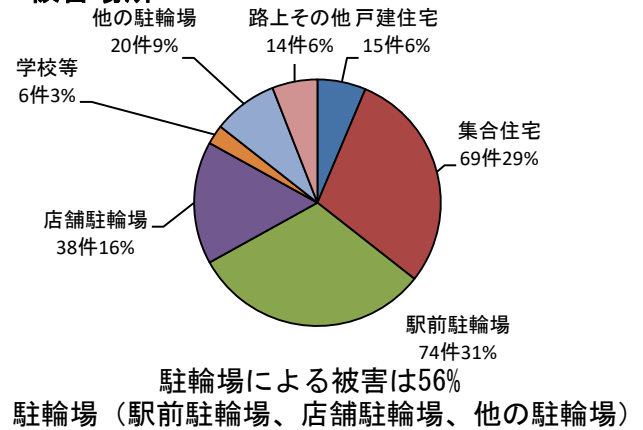
令和6年2月末、県内における自転車盗は236件発生、前年比+6件(増減率+2.6%)となっています。また、自転車盗は刑法犯全体の約12.8%を占め、1日平均約4台が盗難被害にあっています。



2 被害時における施錠の有無



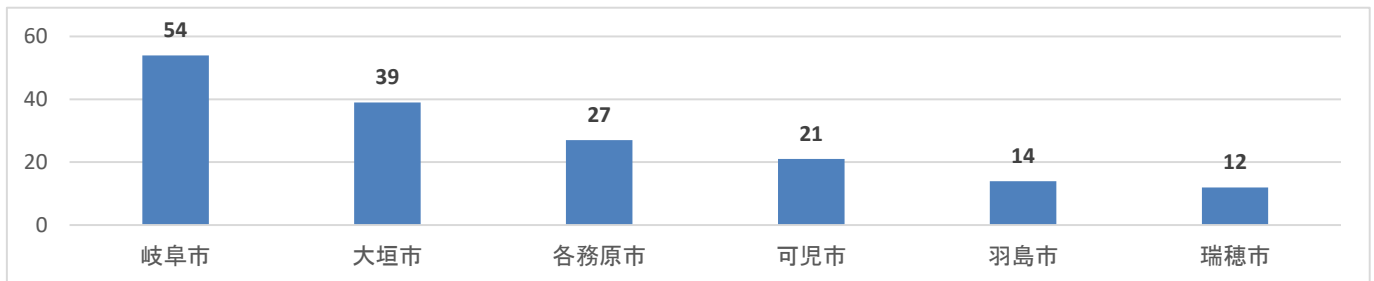
3 被害場所



4 被害者の職業

職業別	小学生	中学生	高校生	大学生	専修生等	学生以外
認知件数	9	10	73	30	10	104
(うち無施錠)	8	9	58	25	8	66

5 市町村別発生状況



～ 自転車盗難防止のポイント ～

1. 少しの時間でも自転車から離れるときは、必ず鍵を掛けましょう。
2. 駐輪する際の施錠は、「ツーロック」をしましょう。
3. 駐輪する際は、防犯設備の整った駐輪場を利用しましょう。

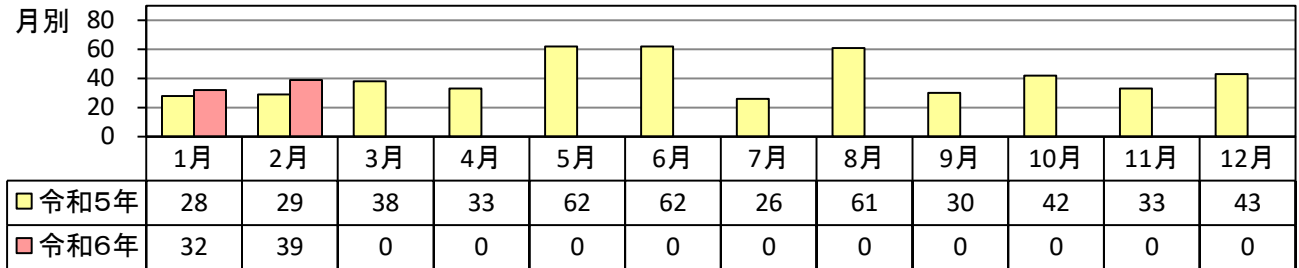
車上ねらいの発生状況(令和6年2月末)

街頭
犯罪

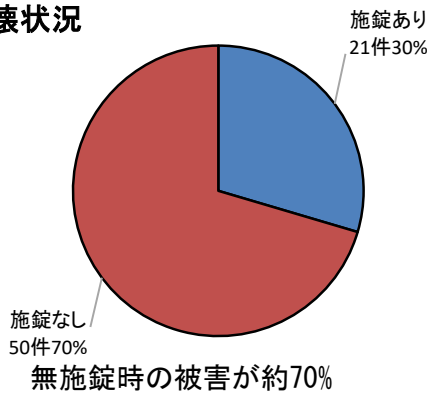
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
71	+14	+24.6%

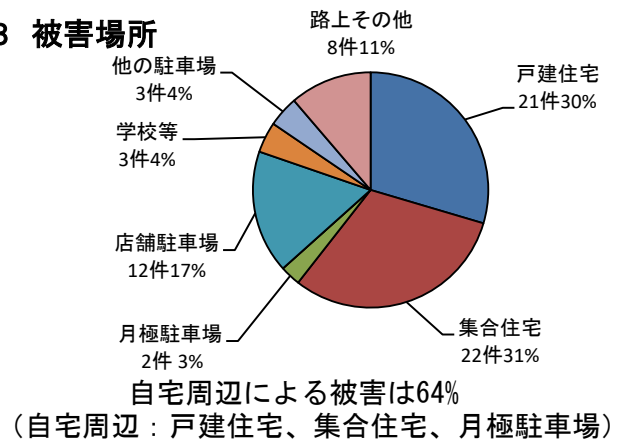
令和6年2月末、県内における車上ねらいは71件発生、被害総額は約564万円、前年比+14件(増減率+24.6%)となっており、1日平均約1台が盗難被害にあっています。
車上ねらい被害のうち0件(約0%)は無施錠の状態被害にあっています。



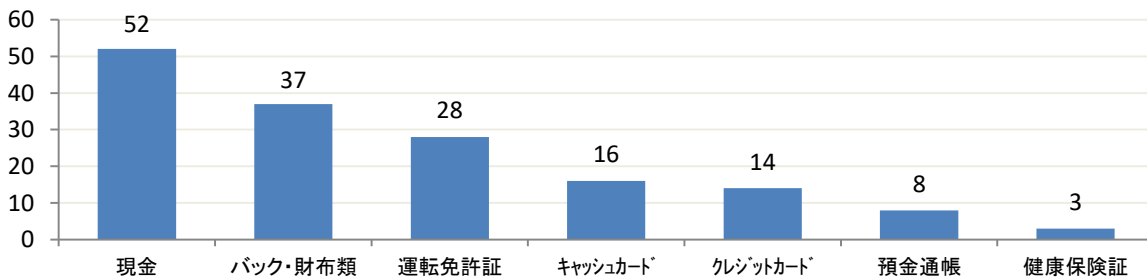
2 車両の損壊状況



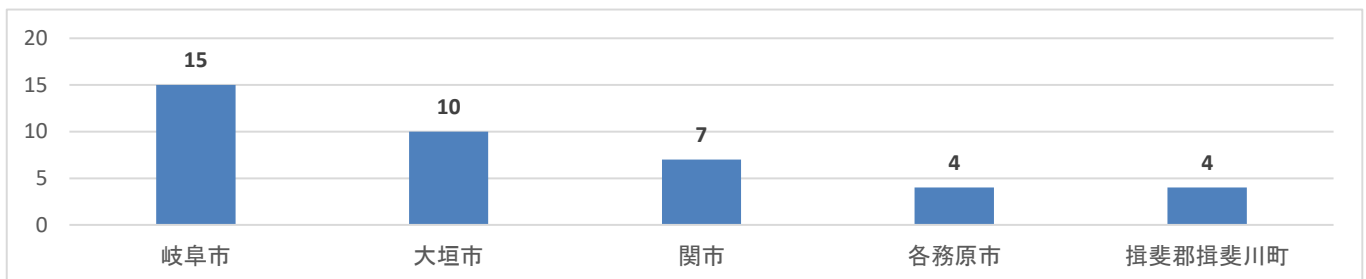
3 被害場所



4 主な被害品(被害品を複数計上)



5 市町村別発生状況



～ 車上ねらい被害防止のポイント ～

1. 駐車時には、必ず「施錠」をして、車内には「カバンや貴重品を放置しない」ようにしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. 振動センサーなどの盗難防止装置を活用しましょう。

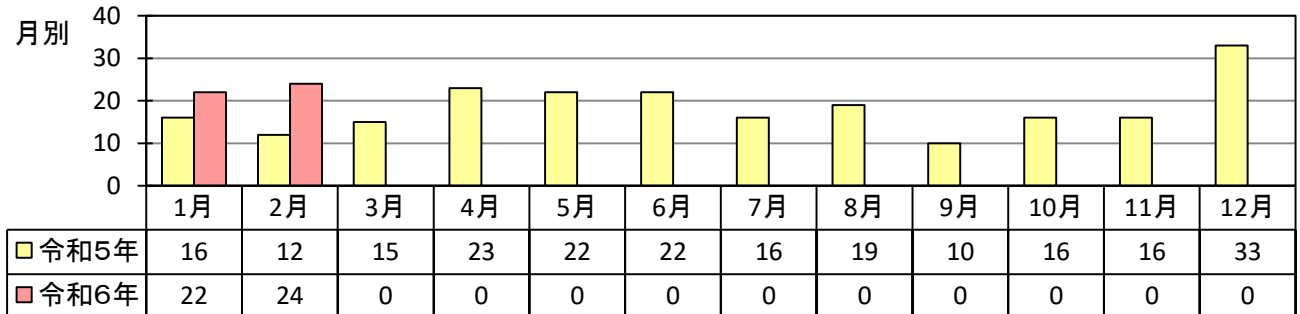
部品ねらいの発生状況(令和6年2月末)

街頭
犯罪

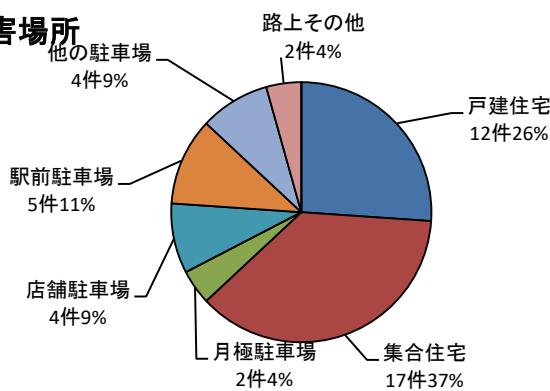
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
46	+18	+64.3%

令和6年2月末、県内における部品ねらいは46件発生、被害総額は約165万円、前年比+18件(増減率+64.3%)となっており、1日に約1台が被害にあっています。



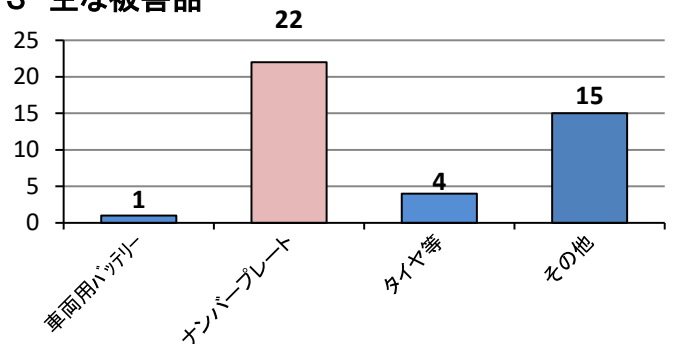
2 被害場所



自宅周辺による被害は67%
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅・月極駐車場)



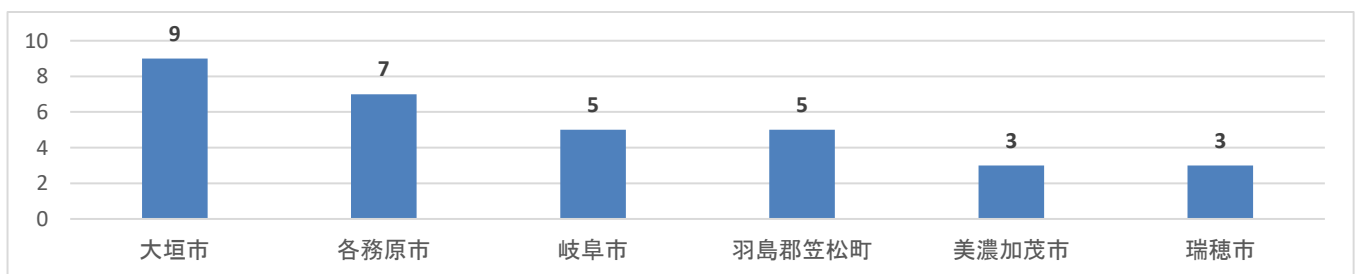
3 主な被害品



ナンバープレートやその他の車両部品(外装等)の被害が多い。
その他の車両部品(外装等)としてバッテリー、ヘッドライト、エンブレム等がねらわれている。

被害を防ぐには、
○ ナンバープレート盗難防止ネジ
○ タイヤ盗難防止ナット
○ バッテリー盗難防止ロックナット
などによる**車両部品に対する防犯対策**が必要！

4 市町村別発生状況



～ 部品ねらい被害防止のポイント ～

1. ナンバープレートには、「盗難防止ネジ」を装着しましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ロックナット、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

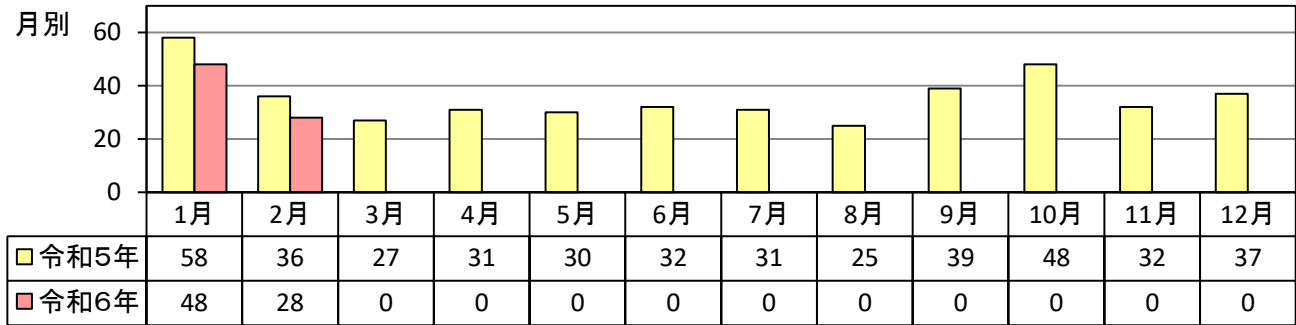
空き巣の発生状況(令和6年2月末)

侵入
犯罪

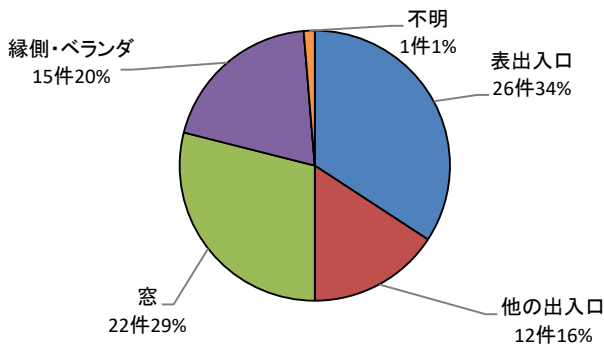
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
76	-18	-19.1%

令和6年2月末、県内における空き巣は76件発生、被害総額は約1億546万円で、前年比-18件(増減率-19.1%)となっており、1日平均約1件発生しています。

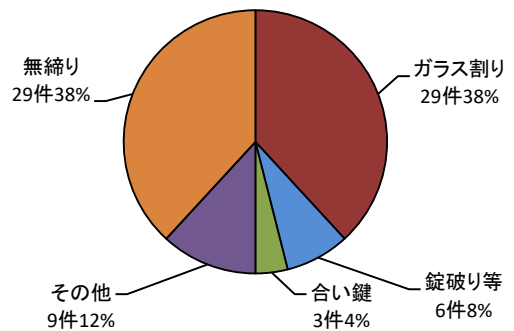


2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は50%

3 侵入方法



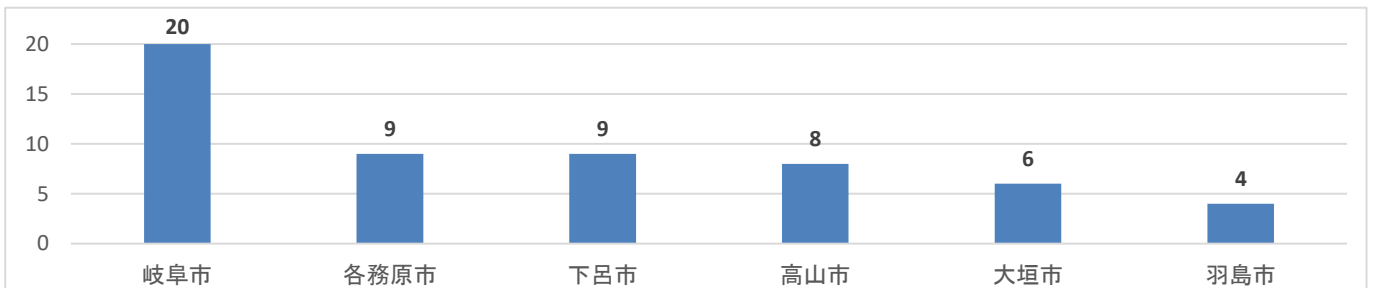
ガラス割りによる被害は38%

4 建物別発生状況

建物別 認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)	その他
	67	7	2	0

※ 低層 ~ 2階建て以下
中高層 ~ 3階建て以上

5 市町村別発生状況



～ 空き巣被害防止のポイント ～

1. 外出するときは、必ず出入口、窓などに鍵を掛け、無締り箇所がないか確認しましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

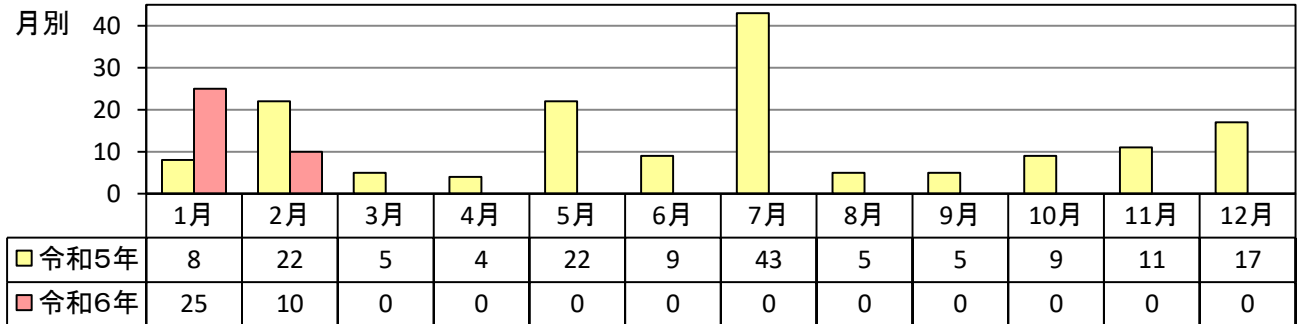
忍込みの発生状況(令和6年2月末)

侵入
犯罪

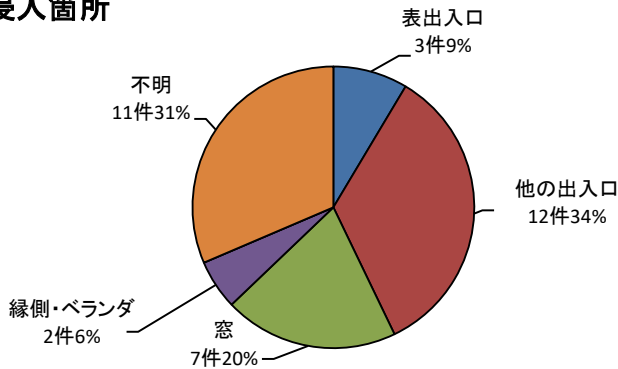
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
35	+5	+16.7%

令和6年2月末、県内における忍込みは35件発生、被害総額は約1,339万円、前年比+5件(増減率+16.7%)となっており、約2日に1件発生しています。

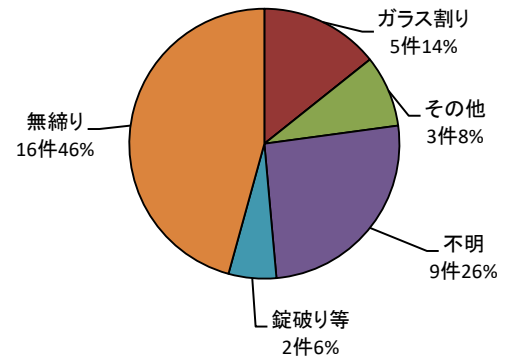


2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は43%

3 侵入方法



無締りによる被害は46%

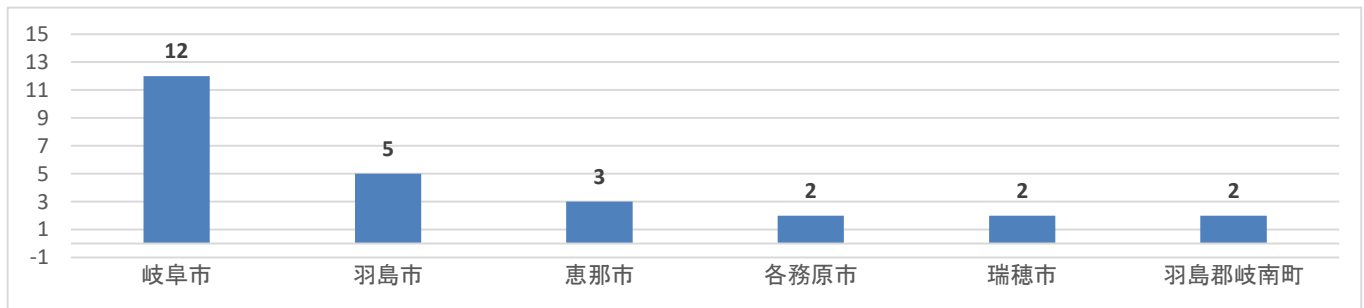
4 建物別発生状況

建物別 認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)
	34	0	0

※ 低層 ~ 2階建て以下
中高層 ~ 3階建て以上
※その他の建物 1件

※戸建住宅が被害の対象となっている。

5 市町村別発生状況



~ 忍込み被害防止のポイント ~

1. 在宅時も出入口、窓など確実な施錠を習慣づけましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

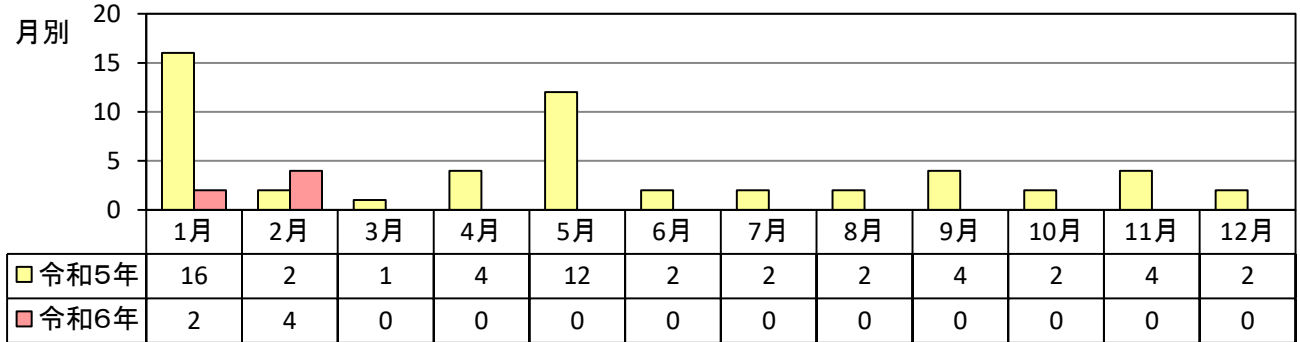
事務所荒しの発生状況(令和6年2月末)

侵入
犯罪

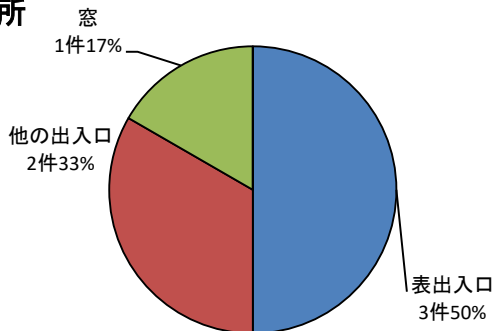
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
6	-12	-66.7%

令和6年2月末、県内における事務所荒しは6件発生、被害総額は約3,344万円、前年比-12件(増減率-66.7%)となっており、約10日に1件発生しています。

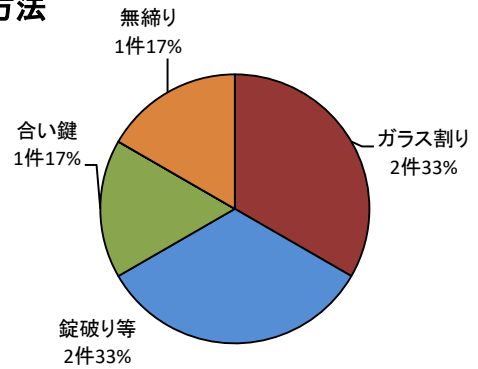


2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は83%

3 侵入方法

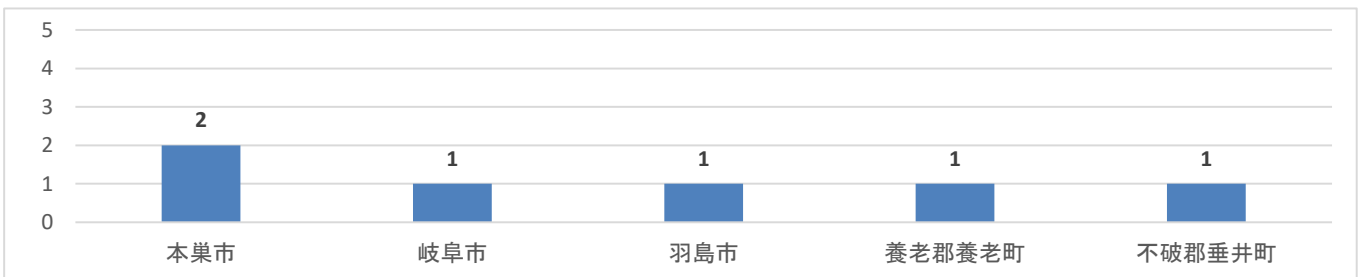


ガラス割りによる被害は33%

4 建物別発生状況

建物別	会社・事務所	飲食店	他の商店	その他
認知件数	3	0	0	3

5 市町村別発生状況



～ 事務所荒し被害防止のポイント ～

1. 事務所の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 事務所が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

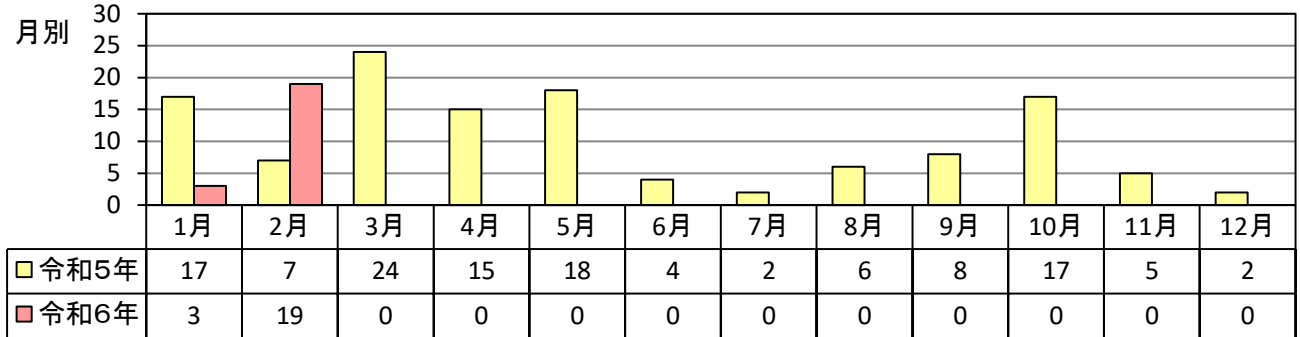
出店荒しの発生状況(令和6年2月末)

侵入
犯罪

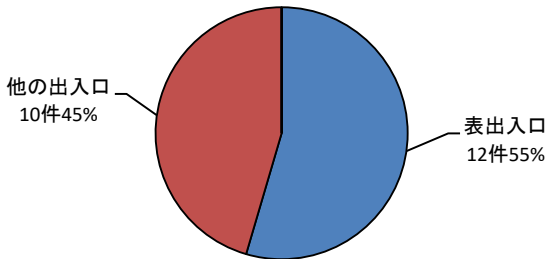
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
22	-2	-8.3%

令和6年2月末、県内における出店荒しは22件発生、被害総額は約162万円、前年比-2件(増減率-8.3%)となっており、約3日に1件発生しています。

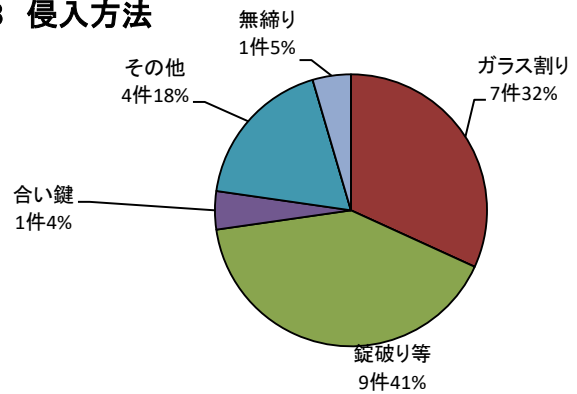


2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は100%

3 侵入方法

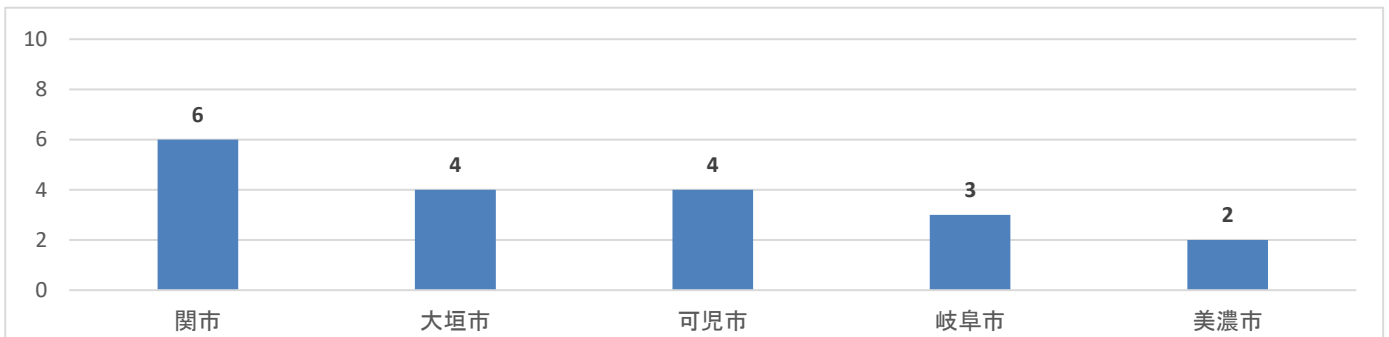


錠破り等による被害は41%

4 建物別発生状況

建物別 認知件数	飲食店	他の店舗	会社・事務所	その他
	0	0	3	19

5 市町村別発生状況



～ 出店荒し被害防止のポイント ～

1. 店舗の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 店舗が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

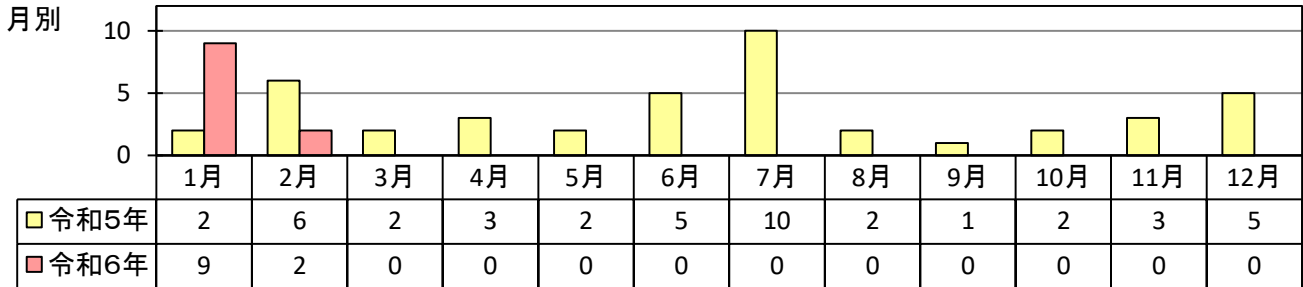
不同意わいせつの発生状況(令和6年2月末)

その他

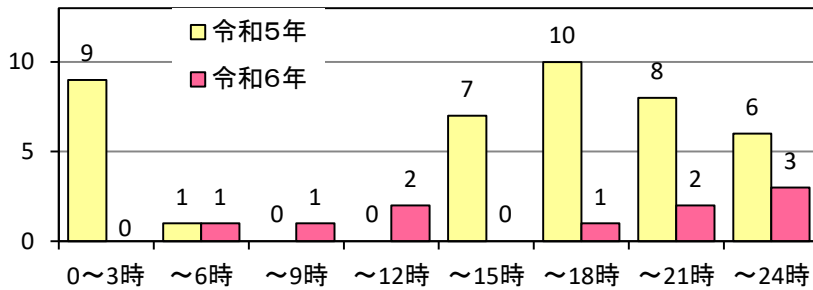
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
11	+3	+37.5%

令和6年2月末、県内における不同意わいせつは11件、前年比+3件(増減率+37.5%)となっています。



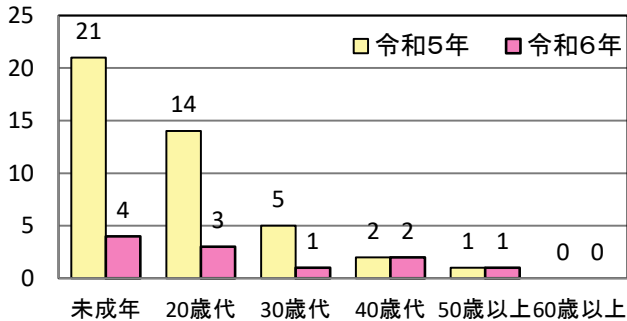
2 時間帯別発生状況



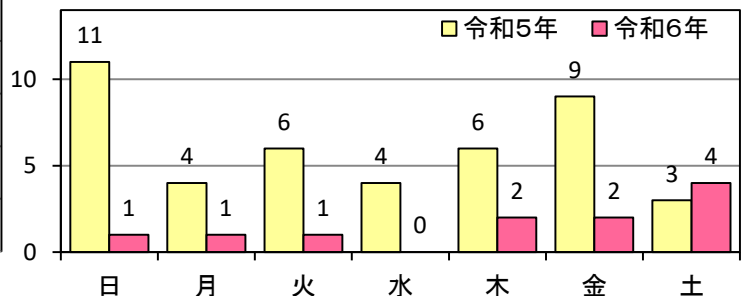
※令和5年 時間帯不明2件
 ※令和6年 時間帯不明1件



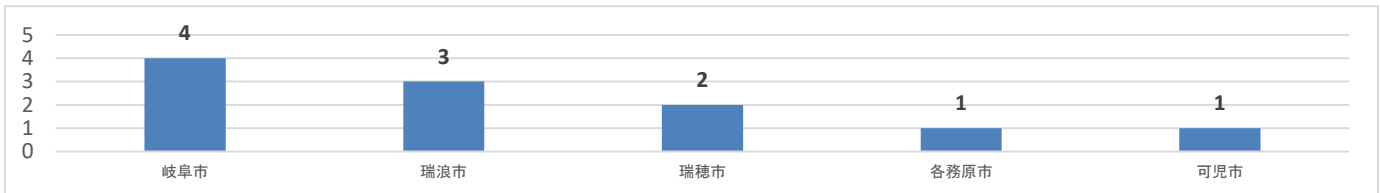
3 被害者の年齢



4 曜日別発生状況



5 市町村別発生状況



~ 不同意わいせつ被害防止のポイント ~

1. 夜間の外出は、街路灯に照らされ、人通りの多い道を歩きましょう。
2. 道路を歩く時は、イヤホン(音楽)などで耳をふさかず、周りを警戒しましょう。
3. 防犯ブザーなどの防犯器具を持ち歩きましょう。
4. 女性の一人暮らしの場合は、表札の名前を苗字にするなどして、一人暮らしを悟られないようにし、配達や集金を装う者が訪問しても、すぐには扉を開けず、ドアチェーンをかけて対応するよう心掛けましょう。

万引きの発生状況(令和6年2月末)

その他

1 万引きの認知件数

(1) 令和6年2月末

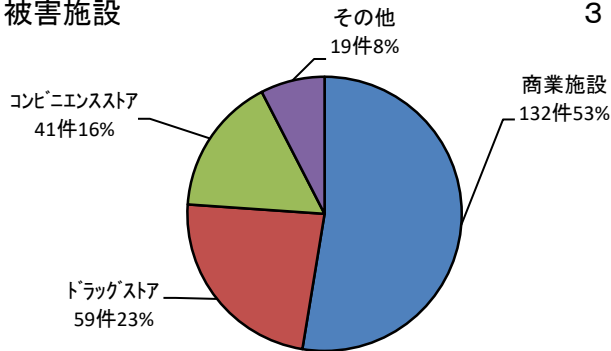
認知件数	前年比	増減率
251	+47	+23.0%

(2) 月ごとの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和5年	105	99	122	99	122	117	96	110	118	109	141	106	1,344
令和6年	133	118											251

令和6年2月末、県内の万引きの発生は251件、前年比+47件(増減率+23.0%)となっています。

2 被害施設



3 被害金額

順位	場所	被害金額(千円)
1	商業施設	3,704
2	その他	1,979
3	ドラッグストア	692
4	コンビニ	99

- ・ 商業施設における被害額が最も多い
- ・ ドラッグストアにおける一件あたりの被害額は、約11,800円

商業施設における被害は53%

※ 商業施設とは、デパート、ショッピングモール、スーパーなど

4 ドラッグストア対象万引き

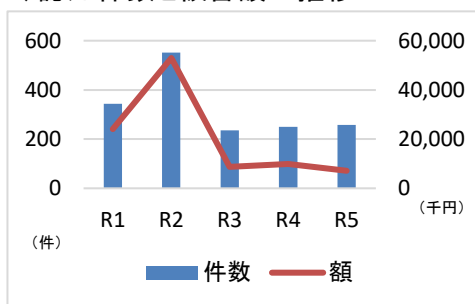
(1) 令和6年2月末

認知件数	前年比	増減率
59	+18	+43.9%

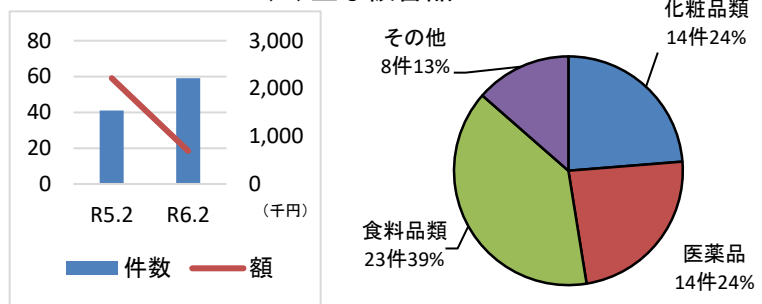
(2) 月ごとの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和5年	18	23	24	13	11	17	25	24	19	22	23	38	257
令和6年	32	27											59

(3) 認知件数と被害額の推移



(4) 主な被害品



～ 万引きの被害防止ポイント ～

1. 来店客には、顔を見て「いらっしゃいませ」などと積極的に声掛けし、万引きをさせない雰囲気づくりに努めましょう。
2. 店舗内に死角が生じないように、商品の陳列棚等の設置場所や商品の陳列方法に配慮しましょう。
3. 売り場や店舗出入口のほか、駐車場等の店舗周辺にも防犯カメラを設置しましょう。